



GPIFの国内株式運用機関が選ぶ「優れたTCFD開示」

年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）は、昨年のコーポレートガバナンス・コード改訂内容を踏まえた新たな取り組みとして、国内株式の運用を委託している運用機関（以下、運用機関）に対して「優れたTCFD開示」の選定を依頼しました。

運用機関には最大5社「優れたTCFD開示」の選定を依頼するとともに、開示の4項目（ガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標）についても、それぞれ最大3社ずつ優れた開示の選定を依頼しました。

その結果、下記表のリストに記載の27社が「優れたTCFD開示」として選ばれました。またそのうち、多くの運用機関から「優れたTCFD開示」として高い評価を得た企業は以下の通りでした。

【4機関以上の運用機関から高い評価を得た「優れたTCFD開示」】

- ◇ キリンホールディングス 8機関 ◇ 三菱UFJフィナンシャル・グループ 5機関
- ◇ リコー 5機関 ◇ 日立製作所 4機関

【GPIFの運用機関が選ぶ「優れたTCFD開示」】

コード	社名	得票数	コード	社名	得票数
2502	アサヒグループホールディングス	2	6981	村田製作所	1
2503	キリンホールディングス	8	7203	トヨタ自動車	2
2678	アスクル	1	7752	リコー	5
2802	味の素	1	8001	伊藤忠商事	3
4005	住友化学	2	8002	丸紅	2
4204	積水化学工業	2	8058	三菱商事	3
4307	野村総合研究所	3	8252	丸井グループ	1
4452	花王	2	8306	三菱UFJフィナンシャル・グループ	5
5020	E N E O Sホールディングス	2	8316	三井住友フィナンシャルグループ	2
6301	小松製作所	1	8411	みずほフィナンシャルグループ	1
6367	ダイキン工業	1	8725	MS&ADインシュアランスグループホールディングス	1
6501	日立製作所	4	8766	東京海上ホールディングス	1
6702	富士通	2	9613	エヌ・ティ・ティ・データ	1
6752	パナソニック	1			

*運用機関から「優れたTCFD開示」として選定された企業の一覧。証券コード順。色塗りは複数得票

なお、開示の4項目において優れた開示と選定された企業は54社となり、3ページにリストを掲載しています。また、外国株式の運用機関にも同様に「優れたTCFD開示」の選定を依頼しており、弊法人の英語版HPにその内容を公表しています。

(https://www.gpif.go.jp/en/investment/20220323_excellent_TCFD_disclosure_en.pdf)

【4 機関以上の運用機関から選ばれた「優れた TCFD 開示」への主なコメント】

○キリンホールディングス

- ・TCFD がシナリオ分析のガイダンスの刊行に際して実施した世界 15 社へのインタビューに、同社は日本企業で唯一選抜。全てにおいて先進的な対応が図られている点を評価。
- ・TCFD 提言に求められる全てが丁寧に開示されている。毎年分析の改善・深化の状況が共有されることで、実効性の高いガバナンスが備わっていることが伝わる。
- ・リスク管理の考え方や、シナリオ分析結果と戦略への反映等を丁寧に説明している。また、年に一度の CSV 説明会にて、指標の進捗などを資本市場にも共有している。SBT1.5°Cシナリオに対する投資金額と損益影響まで開示しており、気候変動対応の損益、企業価値への影響を投資家が理解しやすくなるよう努めている。
- ・TCFD 開示の 4 項目に関して詳細かつバランスの良い開示を行い、気候関連リスク・機会に対する同社の対応方針や戦略が明確であることに加え、気候変動による主要農産物収量へのインパクトやカーボンプライシングの影響評価など、シナリオ分析において定量的な財務インパクトを開示している。
- ・シナリオ分析に基づくリスクと事業機会の財務インパクトが詳細に分析されており、影響の度合いを推計する上で有益な開示となっている。
- ・シナリオ分析において、多数のドライバーに基づき財務インパクトを分析しており、対応戦略も具体的に記載。テーマ別にリスクと機会が整理されており、多面的な分析もなされている。
- ・サマリーにおいて TCFD 推奨の開示項目がコンパクトにまとめられていることに加え、参照ページでの詳述により、気候変動に対する取組みを分かりやすく説明している点を評価する。

○リコー

- ・同社は 1976 年の環境推進室設立以来、長年環境経営に取り組んでおり、初めて発行した TCFD レポートでは、脱炭素に向けた環境目標を一層強化し、その取り組みが同社の事業機会となりうることを具体的に示している。
- ・TCFD レポートとして、実例を豊富に掲載しつつ、包括的な開示がなされている。
- ・TCFD 推奨の開示項目に留まらず、気候変動の取組の歴史、達成に向けた施策や具体的事例、更に、事業機会としての財務への影響も開示するなど、気候変動に対する取組全般が理解しやすいものになっている。
- ・統合報告書以外に、TCFD 開示に特化した TCFD レポートを開示しており、TCFD 開示の 4 項目に関して詳細な開示を行っている。ガバナンスでは、ESG のガバナンス体制に加えて、GHG 排出削減目標が役員報酬と連動していることを開示。気候変動におけるリスク分析では、財務影響を大（500 億円以上）、中（数十億円～500 億円程度）、小（数億円）といった形で定量的な要素を含めて分析するとともに、各リスク・機会を、写真などを活用しながら分かり易く説明している。また、リスク管理の開示では体制図のみならず、重点経営リスクの決定プロセスを図を使って説明している。指標と目標では、スコープ 3 と SBT に言及しており、バランスの取れた質の高い TCFD 開示となっている。

○三菱UFJフィナンシャル・グループ

- ・気候変動に対する自社の影響度の大きさを意識した網羅性の高い情報開示を実施。シナリオ分析における開示充実の取組み、今後のアクションプラン、アセットマネージャーとしての TCFD 対応の開示を高く評価。
- ・カーボンニュートラル宣言、サステナビリティ推進体制の強化など、多くの点で組織的な高度化が進化したことで、TCFD 開示の各柱の連関性が向上、また、指標と目標及び実績の開示が充実した。カーボンニュートラル宣言実現に向けたロードマップも明示しており、活動の全体感やタイムラインがわかりやすい。

- ・同社の TCFD 開示は金融セクター内の相対感でも全体を通して優れており、特に「指標と目標・実績」の開示が優れている。機会・リスクの双方をバランスよく開示しており、機会についてはサステナブルファイナンスの残高目標とあわせ、再生エネルギープロジェクトファイナンスによる CO2 削減目標についても開示。リスクについては、他メガバンクが石炭火力プロジェクトファイナンス残高の開示のみに留まる中、同社はコーポレートファイナンスも含めた「炭素関連資産」の開示もしている。
- ・報告書の構成が、「活動のハイライト」、「長期ビジョン」、「TCFD 推奨の開示項目に沿った報告」と整理されており、ユーザーが必要な情報にアクセスしやすい。各 TCFD 推奨開示項目も、同社の「MUFG カーボンニュートラル宣言」やその実現に向けたロードマップをベースに展開されており、内容が一貫している点が評価できる。

○日立製作所

- ・1.5°C・4°Cシナリオでの事業環境、リスク、機会が詳細に定義されており、長期的なレジリエンス性に信頼感が持てる内容。ICP 導入を始めとする脱炭素に向けた先進的な目標が掲げられている。
- ・3年ごとに更新される環境行動計画の進捗管理など、実効性の評価が可能なディスクロージャーとなっている。
- ・事業単位にブレークダウンしたシナリオ分析を実施するなど、全4項目において踏み込んだ内容が多い。各種分析結果を戦略的意思決定にも紐づけていることが確認でき、投資家の判断に資する。

【GPIFの運用機関が選ぶ「4つの開示項目における優れた開示」】

コード	社名	得票数				コード	社名	得票数			
		①	②	③	④			①	②	③	④
1802	大林組	1	-	-	-	6971	京セラ	-	-	1	-
1803	清水建設	-	-	-	1	6981	村田製作所	1	-	-	-
1925	大和ハウス工業	1	-	-	-	7203	トヨタ自動車	1	2	2	2
1928	積水ハウス	-	3	-	1	7272	ヤマハ発動機	-	-	-	1
2269	明治ホールディングス	-	-	1	-	7752	リコー	2	1	1	2
2502	アサヒグループホールディングス	-	1	-	-	8001	伊藤忠商事	-	-	2	1
2503	麒麟ホールディングス	1	2	3	2	8002	丸紅	-	2	-	1
2607	不二製油グループ本社	2	-	2	1	8053	住友商事	-	-	-	1
2802	味の素	-	-	-	1	8058	三菱商事	1	3	-	-
3086	J.フロント リテイリング	-	-	2	-	8252	丸井グループ	1	-	-	1
3401	帝人	-	-	-	1	8306	三菱UFJフィナンシャル・グループ	3	-	2	1
4005	住友化学	5	3	-	4	8316	三井住友フィナンシャルグループ	1	-	2	-
4186	東京応化工業	-	-	1	-	8411	みずほフィナンシャルグループ	1	-	-	2
4204	積水化学工業	2	2	-	-	8604	野村ホールディングス	-	-	1	-
4307	野村総合研究所	-	1	1	1	8725	MS&ADインシュアランスグループホールディングス	1	1	3	1
4452	花王	3	-	-	-	8750	第一生命ホールディングス	-	-	1	-
5020	ENEOSホールディングス	-	-	1	1	8766	東京海上ホールディングス	-	1	1	1
5401	日本製鉄	-	-	1	-	9020	東日本旅客鉄道	-	1	-	-
5411	ジェイ エフ イー ホールディングス	-	-	1	-	9086	日立物流	1	-	-	-
5713	住友金属鉱山	-	1	-	-	9101	日本郵船	1	-	-	-
6367	ダイキン工業	-	1	-	-	9104	商船三井	-	1	-	-
6501	日立製作所	2	4	2	1	9201	日本航空	-	-	-	2
6645	オムロン	1	-	-	-	9432	日本電信電話	-	1	-	-
6702	富士通	-	-	1	1	9501	東京電力ホールディングス	-	-	-	1
6752	パナソニック	-	1	-	1	9508	九州電力	-	-	-	1
6762	TDK	1	-	-	1	9513	電源開発	-	1	-	-
6902	デンソー	-	1	-	1	9613	エヌ・ティ・ティ・データ	1	1	1	-

*上記は運用機関から4つの開示項目（①ガバナンス、②戦略、③リスク管理、④指標と目標）のいずれかで優れた開示として選定された企業の一覧。証券コード順。色塗りは複数得票

以上